

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
【共通12】								
共通12全体	—	—	1	共通12_R2	2023年2月27日	条文毎の類型分類の整理結果（リスト）をもとに、共通13で類型分類（A/B-1~4）、工事の有無の整理、共通12では新設/改造をする設備に絞って類型分類（A/B-1、2）を示す資料構成としているが、共通12、13で説明する場所を複雑にせず、共通12で全ての構造（詳細な設備構造含む）を説明したと言えるよう整理すること。	新規に共通13として類型分類の考え方及び結果を示す資料は作成せずに、共通12の資料内で類型分類の考え方及び結果を示す構成に見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙1 類型分類の整理結果 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
申請書	—	—	2	共通12_R2	2023年2月27日	設備リストができて、構造の説明に進んでいるところだが、現実として構造の説明から設備リストにフィードバックを行い代表が再整理されるものもあるはずなので、対応すること。	別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リストとして、構造設計の分類を示す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
共通12全体	—	—	3	共通12_R2	2023年2月27日	耐震の類型整理の観点（説明項目が多いものを代表にしつつ、同じ説明項目でも他との差分は個別補足という観点）と同様に、竜巻においても大枠としては飛来物防護ネットが1つであり、A4Bからの視点追加や設備対応が異なるものは差分を追加説明することで、ほぼ全てのネットが出てくるものと思っている。その中でA4Bとは異なるものの、他と同じものも整理され、説明の重複もせずにすむため、リスト含め再整理すること。	先行例として飛来物防護板の構造設計につながる整理を別紙2-1の表で対応した。 具体的には、説明の重複を避けるため、共通的な方針となるものは、「設計上の配慮事項」の中で【共通設計】として示し、差分については、行を分けて示す方針とした。  なお、防護ネットとしての具体的な整理結果は別途示す。（No.8と同様）	資料反映済(差分の示し方)： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）内の表  資料反映： 次回以降提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
設備リスト	—	—	4	共通12_R2	2023年2月27日	P6~8：主条文に◎がつくものをピックアップしていく中で、No.1657 監視カメラのように、他条文に◎がついているものを8条で引っ張ってくと混乱するため、考え方を示すこと。	構造設計の説明は、主条文で整理（過去資料で別紙3のリストで「◎」、現在の資料で青ハッチングで整理）した条文説明の中で行う方針とした上で、監視カメラについては、主条文を制御室から外部衝撃（その他）に見直す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）  資料反映： 次回以降提出 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
設備リスト	—	—	5	共通12_R2	2023年2月27日	P6～8：現状で第8条に○がついていないものがあり、運用もしくは設計で担保するものを識別して示すとのことだが、注記にて対応するのか。	各条文の欄は○、△、—ではなく、類型分類（A、B-1～B-4）で示す方針に見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙3 申請対象設備 （類型分類及び構造設計の整理）リスト
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	6	共通12_R2	2023年2月27日	P11以降：表の並びは条文の順番か。	条文の順番となっていないため、条文の順番に見直す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）内の表
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	7	共通12_R2	2023年2月27日	P11以降：基本設計方針の記載について、抜けなく記載すること。また、要求事項に記載する内容は基準要求とすること。	基本設計方針を含む全体の基本設計方針については、別紙4として整理を行った上で、構造設計に係る設計方針を別紙2で示す方針とする。	資料反映： 次回以降提出 別紙4 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理 （本方針で竜巻以外の条文についても順次展開中。ヒアリング結果を踏まえ、修正予定。）
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	8	共通12_R2	2023年2月27日	P11以降：基本設計方針と構造設計のつながりが不明確であるため、明確にすること。	防護ネットは、飛来物防護板の整理方針を踏まえ、見直し中。	資料反映： 次回以降提出 共通12 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	9	共通12_R2	2023年2月27日	P11以降：A4Bネットと同じであると説明している箇所があるが、本当に同じ構造設計であると言えるのかという包含関係が議論できるように表を整理すること。	(No. 8と同様)	(No. 8と同様)
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	10	共通12_R2	2023年2月27日	P13：No. 6について、地震時の相対変位を踏まえた隙間とあるが、その要求はどこに記載があるのか。また、条文ごとの相互関係を踏まえて設計しているところについては、関係性が分かるように番号で呼び合う等で修正すること。	他条文の関係については、整理表では【】で図では（）で関連する整理表No. を示す方針とした。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	11	共通12_R2	2023年2月27日	P13：No. 6構造設計のまた以降の記載が設計方針の追加ではなく具体の展開であることが分かるように記載すること。また、1文目の記載について外部要因からケースが分かれ、それぞれどのような設計としているということが分かるよう修正すること。	(No. 46と同様)	(No. 46と同様)
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表、 図面	12	共通12_R2	2023年2月27日	表と図の関係を明確になるように見直すこと。	図の中の吹き出しに表の番号をつける対応で紐づけを明確にした。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
その他	—	—	13	共通12_R2	2023年2月27日	建屋から支持を取っている飛来物防護板は「構築物」に整理しているとのことだが、建屋に構築物を増設するという考えか。	建屋から支持を取っている飛来物防護板は構築物として整理するため、建屋に構築物を増設するという位置づけになる。構築物になるという整理方針については、別紙2-1の本文に示した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）本文
共通12全体	—	—	14	共通12_R2	2023年2月27日	P6：章番号の隣にある番号について、「共通12 構造概要の類型」の欄で示す分類番号と整合が取れていないため見直すこと。	誤記を修正した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
その他	—	—	15	共通12_R2	2023年2月27日	2月の審査会合でも触れたが、竜巻で説明を受けた内容（一部、設計飛来物が飛来物防護ネット内に侵入する可能性がある）について、本日の説明では第1回設工認で認可済の基本設計方針を変更するということがあったが、その場合は事業変更許可との関係も整理する必要がある（事業変更許可の変更も必要となる可能性がある）ため、許可時に間違った説明をしたということであれば、相当な対応が必要であるということを確認しておくこと。	事業変更許可との関係も踏まえ、対応方針検討中。	検討中
本文	—	—	16	共通12_R3	2023年3月3日	2. 類型分類にて<具体的な対象>の避雷設備が唐突な記載となっているなど、2. 類型分類と3. 設備の構造設計の説明が繋がっていない。P17に記載されている設備の分類を整理し、3. 設備の構造設計の説明へつながる説明を精査する必要がある。	2. 類型分類のAの<具体的な対象>の記載を見直すとともに、2. 類型分類と3. 設備の構造設計のつながりの記載を拡充した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文
共通12全体	—	—	17	共通12_R3	2023年3月3日	各条文の類型分類の設備数を示したP17の別紙1には、P18以降（別紙1のエビデンスとなる設備リスト）に示す「◎」（8条で構造説明するもの）、「○」（8条で構造説明しないもの）が含まれており、これらを全て別紙として添付する場合、資料も膨大となり見にくくなるため、「◎」、「○」の扱いを整理し、別紙1に添付すべき資料の内容および構成を精査すること。	「2. 類型分類」及び「3. 設備の構造設計」の内容を集約した「別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト」を新規で作成した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
共通12全体	—	—	18	共通12_R3	2023年3月3日	P18の別紙1（類型分類の整理結果）の設備リストで、3. の構造設計の分類も混在しており、その考え方が後段の別紙2で記載されていることにより混乱を招くため、2. 類型分類及び3. 設備の構造設計でそれぞれ何を示すべきかを整理の上、別紙1の設備リストの構成を再整理すること。（例えば、構造設計の説明に関連しない安全機能を有する施設のリストを別表に整理する等）	(No. 17と同様)	(No. 17と同様)

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	19	共通12_R3	2023年3月3日	P305：基本設計方針が第2章しか記載していないが、波及影響機器については第1章 共通項目からしか設計方針を抽出できない場合もあるため、第1章の基本設計方針も必要では。第2章より第1章の方針の方が広く記載されており、第1章を記載することで設計方針の漏れの発生も防げるかと思うため、追加すること。	別紙2の整理表には、第1章、第2章の必要な内容を記載する方針を本文に記載した上で、各条別紙2で設計方針の漏れがないよう記載を拡充した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	20	共通12_R3	2023年3月3日	P305：基本設計方針は第1章と第2章の関係を踏まえ並記すること。条文によっては第1章と第2章の関係が異なるものもあるかと思うので、それぞれ対応すること。	(No. 19と同様)	(No. 19と同様)
構造概要（外部衝撃）	耐震	整理表	21	共通12_R3	2023年3月3日	耐震の基本設計方針はほぼ第1章であり、抜き出す必要があるところはあまりないため、スクリーニングをかけて、必要となる部分を抽出すること。	構造設計を示す整理表作成の基本的な考え方については、本文の「3.設備の構造設計」の中で示す。これを踏まえ、各条文で基本設計方針の整理結果を別紙4で示す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）  資料反映： 次回以降提出 別紙4 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理（本方針で竜巻以外の条文についても順次展開中。ヒアリング結果を踏まえ、修正予定。）
本文 構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	22	共通12_R3	2023年3月3日	P12の設計方針（添付書類）および設計上の記載事項（配慮事項）について、現状の添付書類の記載有無に関わらず共通12に記載すること。その後、それを添付書類のどこ（添付書類か図面化等）で記載すべきか整理すること。	別紙2で上流側からの整理結果を踏まえ、構造設計として記載すべき内容を精査する。その結果を各条00別紙にも反映する。	資料反映 ・共通12 別紙2（構造概要）整理表 ・各条00別紙
構造概要（外部衝撃）	耐震	整理表	23	共通12_R3	2023年3月3日	P304：添付書類の欄も1つだけで十分なのかとも思っている。類型後の設計プロセスの関係部分や、別紙4-1の基本設計方針を受けた方針を記載する欄を設ける方法もある。FEMのものが構造設計の記載をもってきてよい。申請書と親和性の高い形で整理すること。	(No. 53と同様)	(No. 53と同様)
構造概要（外部衝撃）	耐震	整理表	24	共通12_R3	2023年3月3日	P304：横軸の記載は耐震独自で整理すること。関連条文として何を書くべきかではなくて、それぞれの条文で何を書くべきかを定めるべき。耐震は関連が多いので先行してフォームを固めること。	(No. 53と同様)	(No. 53と同様)

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
本文 構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	25	共通12_R3	2023年3月3日	設計上の配慮事項が全体共通なのか、特異なのか、特異のものにも分類があってそれをどう示すか整理すること。また、整理の考え方を本文にも記載すること。	整理表に関しては、(No. 46と同様) 本文の記載については、「3. 設備の構造設計」に記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 本文、別紙2-1 構造概要（外部衝撃）整理表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	26	共通12_R3	2023年3月3日	P303：G10で建屋に設置する飛来物防護板について、構造設計の記載が「追而」となっており、飛来物防護板（防護板（鋼材）及び支持架構）で類型できるのかわからないため、どう整理で説明するかの考え方を示すこと。	(No. 36と同様)	(No. 36と同様)
共通12全体	—	—	27	共通12_R3	2023年3月3日	P18のグレーハッチング箇所の条文（施設共通方針のみ）について、Aの新設ものは説明が必要。ただし、各条文で構造設計を全て書くとは煩雑になるためそこまでは必要ないが、どこかで記載したものを呼び込みでもいいが、説明すべきところはしっかり説明すること。	施設共通基本設計方針に係る構造設計の整理表（別紙2-8）を添付した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-8 構造概要（施設共通基本設計方針に関する構造設計）
設備リスト	—	—	28	共通12_R3	2023年3月3日	P21以降の設備リストにて安全機能を有する施設の扱いを再整理すること。	条文の主語が安全機能を有する施設であるものについては「—」ではなく類型分類（A、B-1～4）に見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	29	共通12_R3	2023年3月3日	P304以降の構造設計の欄で差分として記載している事項に関連する設計上の配慮事項が空欄となっている箇所があるので追記すること。また、ボルトの長孔の構造設計について、竜巻の評価上期待せずに評価するものであるが、構造上はその効果を期待して設計しているものであることが分かるように記載を見直すこと。	取付ボルトの強度評価においては、保守的に長孔を考慮しない旨、別紙2-1の整理表に記載した。防護板以外にも構造上の効果を期待して設計しているものがある場合には、その旨を記載する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）整理表
構造概要（外部衝撃）	外部火災	図面	30	共通12_R3	2023年3月3日	P322の耐火被覆に係る塗装範囲の概要図については、航空機墜落位置を反映すること。	航空機墜落位置が明確になるように外周ラインを概要図へ反映した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-12図
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	31	共通12_R3	2023年3月3日	P323：KA建屋とAB建屋の建屋間の屋外ダクトの飛来物防護板の取り付け（支持架構及び防護板が分離しているのか、エキスパンションを設置しているのか）がよくわからない。また、AB建屋の壁面に設置している飛来物防護板と基礎の取り付け（壁面だけではなく、基礎にも支持架構を設置して支持しているのか）についても明確にすること。	屋外ダクトの飛来物防護板について、建屋間および基礎との取り付けが分かる情報を追加した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-13図

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 （キーワード）	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	32	共通12_R3	2023年3月3日	屋外ダクトの飛来物防護板の地震の相対変位を考慮した隙間に対して、竜巻でどのように構造設計しているかが分かるようにすること。	設計飛来物が侵入しないようにラビンス構造となっていることがわかるように記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-8図 ・第1.2.2-1図
構造概要（外部衝撃）	耐震	図面	33-1	共通12_R3	2023年3月3日	P309の飛来物防護板（A1）の中央ブロックは、異なる基礎（主排気筒基礎に増設した基礎）から支持しているもの上側（支持架構及び防護板）の取り合いがよくわからないため明確にすること。	支持架構及び防護板が基礎のブロックごと（東、中央、西）に支持架構および防護板が分離した構造であることが分かるように概要図を見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）第1.2.1-1図
設備リスト	耐震	—	33-2	共通12_R3	2023年3月3日	主排気筒の基礎に基礎を増設しているのに、設備リストにおける主排気筒の工有無が「—」になっているのもおかしいため、再整理すること。	別紙3の主排気筒の「工有無」の記載を工有に修正する。	資料反映済： 次回以降反映 共通12 別紙3 申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	34	共通12_R3	2023年3月3日	建屋間の相対変位（他条文の要求事項とリンクして構造設計する箇所）について、表としては考慮する旨記載しているが、概要図でもそのリンクがわかるようにすること。	概要図でも他条文の要求事項とのリンクがわかるように関連する整理表の番号を括弧書きで記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）図
会合資料	—	—	35	共通12の対応方針	2023年3月7日	会合資料について、別紙3の主要条文毎に青ハッチングした設備を抜き出すとともに、A, B-1, B-1'等の類型分類および構造タイプの分類を踏まえて条文毎の表に加工したものをつけること。一度提出し、認識合わせを行うこと。	別紙3で整理した類型分類及び構造タイプの整理結果を踏まえた会合での類型分類のエビデンス資料のイメージを別途説明する。	資料反映： 次回以降 共通12
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	36	共通12の対応方針	2023年3月7日	別紙2の構造設計について、設備を横に並べるのはサンプリングの観点からありえないため、設備毎に分けず一列にまとめて記載すること。主で説明するものと差分が分かるように順々に記載しそれぞれ概要図へ展開すること。	構造設計は一列で記載する方針とし、共通設計で説明するもの、差分として説明するものを縦に記載し、概要図へ展開するように修正した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）内の表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	37	共通12の対応方針	2023年3月7日	3/3版の資料にて複数の図面で説明の重複があったが、共通の構造設計を説明する概要図、構造設計の差分を説明する概要図を整理して合理化すること。	類型して構造設計を説明するという主旨を踏まえ、別紙2の構造設計整理表から展開する概要図についても構造設計整理表の記載に合わせ、必要な図面のみ添付した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2 構造概要

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	38	共通12の対応方針	2023年3月7日	別紙2の構造設計整理表が飛来物防護板や飛来物防護ネットなどの種類の分類ごとに別々で作成する際に、構造設計に関連する基本設計方針の網羅性はどのように示すのか整理すること。（例：条文毎に構造設計整理表に記載する基本設計方針は該当しないものも含めて記載した上で、当該設備で説明がないものについては、他の別紙2の構造設計整理表とのリンクを張る。もしくは基本設計方針を一つにまとめ表を作って、どの別紙2の構造設計整理表で展開しているかを示す方法もある。）	(No. 63と同様)	(No. 63と同様)
設備リスト	—	—	39	共通12の対応方針	2023年3月7日	前回の会合で示した各条の類型分類は別紙3でまとめて示す方針は理解したが、各条で類型分類を整理する際はさらに設計項目（対策設備、防護設備、安全機能を有する施設等）をさらに分けて分類していたため、別紙3で各条の設計項目をまとめて示す方法を整理すること。	各条で類型分類の設計項目の整理表（例 B-2①：建屋内に収納される防護対象、B-2②：波及影響の対象設備等）を別紙1で作成し、別紙3の表へ当該整理表の情報を反映する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備 （類型分類及び構造設計の整理）リスト
構造概要（施設共通）	全般	図面	40	共通12_R4	2023年3月10日	別紙3にて黄色ハッチングで整理している施設共通基本設計方針に係る構造設計の整理表（別紙2-8）は、構造設計の概要の文章だけが記載されているが、構造設計の内容を説明するための概要図を添付すること。	施設共通基本設計方針に係る構造設計の整理表（別紙2-8）においても、必要な概要図を添付する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-8 構造概要（施設共通）整理表  資料反映： 次回以降提出 別紙2-8 構造概要（施設共通）整理表 （上記以外についても順次作成予定）
共通12全体	—	—	41	共通12_R4	2023年3月10日	別紙3にて条文毎に構造設計を説明不要と整理している「 <sup>〃</sup> （ダッシュ）」の有無はどう判断したのか。判断理由が分かるようにすること。	(No. 61と同様)	(No. 61と同様)
設備リスト	—	—	42	共通12_R4	2023年3月10日	別紙3フォームについて、前回の会合資料を踏まえ必要な情報のみに見直すこと。	2月の会合で示した別添資料に合わせて、別紙3のフォームが必要な情報のみ記載するよう見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備 （類型分類及び構造設計の整理）リスト
設備リスト	—	—	43	共通12_R4	2023年3月10日	P82の類型分類の凡例について、5条6条のうち変更していない類型分類は番号を振る必要はないと思うため精査すること。	類型分類のエビデンスとして本番号は必要となるため、残すこととする。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙3 申請対象設備 （類型分類及び構造設計の整理）リスト

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	44	共通12_R4	2023年3月10日	P77別紙3に記載のある耐震設計「C」、「C-1」について、波及影響対象かどうかの整理として、共通12の中で防護対象との位置関係が確認できるようにすること。	評価につながる情報として、共通12の中で「C」、「C-1」の整理の基となる配置情報についても整理し追加した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 第1.2.2-1図
申請書	—	—	45	共通12_R4	2023年3月10日	P77別紙3について、耐震計算書の「飛来物防護板（端子盤エリア）」はどれに該当するか。耐震計算書と別紙3の設備リストが整合していないため、修正すること。	No3620の「飛来物防護板（冷却塔接続 屋外設備）」が該当する。設備リストの名称が正であり、耐震計算書の名称と不整合があるため、次回補正時に申請書を修正する。	資料反映： 次回補正時
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	46	共通12_R4	2023年3月10日	P26別紙2の構造設計の整理表について、設計方針、設計の配慮事項から構造設計へ紐づけして整理しているが、構造設計の説明ロジックを意識した設計方針の流れを踏まえて整理すること。 (以下内容を例として指摘を受けた) ・No. 5が最初であり、飛来物の侵入角度を考慮し防護板を設置します。こういう条件（ラビリンス構造）で設置しますというような流れでは。 ・No. 3の鋼板の形状、重量低減についても基本設計方針との関係性が不明確。 ・P37の概要図も構造設計を工夫したところという意味では説明ポイントだが、説明の流れのどこで説明するか整理すること。 ・共通的な設計であることが明確になるように記載すること。	構造設計の説明ロジックを踏まえ、共通的な設計方針は【共通設計】として前段に記載し、関連する差分の構造設計をその後段に記載する方針とする。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）整理表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	47	共通12_R4	2023年3月10日	P26別紙2のNo. 13（GA建屋の防護板は、制約が少ないため、他の鋼材の防護板と異なり、厚い防護板を採用）について、代表に包含できない設計としているのであれば、代表に含めず個別で説明すること。 また、P49第16図を引用しておらず、ぶら下がる基本設計方針も波及的影響の記載となっており、おかしいため、合わせて修正すること。	(No. 67と同様)	(No. 68と同様)
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	48	共通12_R4	2023年3月10日	P49の説明で写真に見えていない右側の防護板について触れたが、写真を追加する必要があるのであれば追加すること。	概要図を添付するとともに、添付する写真を見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） 第1.2.1-23図



コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 （キーワード）	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	49	共通12_R4	2023年3月10日	P26別紙2の飛来物防護板の説明範囲が不明確。P23にて飛来物防護板の分類を二つに仕分けしているのであれば、P51と同様にP26の表題に分類を反映すること。また、P26とP51の整理表間の関係性が分かるよう記載を行うこと。	表題を飛来物防護板の分類について「竜巻に関する飛来物防護板（防護板（鋼材）及び支持架構）の構造設計」へ修正した。また、飛来物防護板の各整理表間の関係性が分かるよう、それぞれの整理表の設計上の配慮事項へ追記した。但し、「第1.2.2-4表 火山の影響に関する飛来物防護板の構造設計」について、表題への分類の記載がないため、追記が必要。	資料反映： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表 修正版提出： 次回提出時
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	50	共通12_R4	2023年3月10日	P26別紙2の一行目について、構造設計で関連する概要図の呼び込み等の記載がないため、記載を見直すこと。	構造設計欄へ紐づく図面の呼び込みを追記した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	51	共通12_R4	2023年3月10日	P46の屋外ダクトの防護板は、下面の板がついてない空隙部分の構造設計について、P26No.2の下線部分「直接衝突しない構造」で整理しているとのことだが、共通としてまとめすぎであるため、飛来物侵入経路としてどういった箇所を考えるのかという点について潰しこみを行うこと。No.5についてもラビリンズ構造としての説明が足りているかについて精査すること。	共通設計として、「防護板（鋼材）は、設計上考慮する飛来物が、竜巻防護対象施設に直接衝突しないように設置する。」とした上で、隙間の設計の差を網羅的に記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	本文	52	共通12_R4	2023年3月10日	P23に飛来物防護板が構築物の分類であることを明記すること。	別紙2-1本文の1.2項へ飛来物防護板が構築物の分類である旨記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）1.2 飛来物防護板
共通12全体	—	—	53	共通12_R4	2023年3月10日	耐震は個別に説明として合意したはず。耐震の設計考慮を一つ一つ聞いても意味がないため、網羅する形で整理して説明すること。波及的影響機器とはいえ説明が不十分（設計方針が一行しか書いていない、配慮事項で特化したことしかかいていない、配慮事項と具体的設計がオウム返し）という状況のため、そのあたりの方向性（どういう単位でどういうことを説明していくかの方針）について整理し、朝会等を活用し説明すること。	建物・構築物と機器・配管のSクラス、波及影響施設の4分類して、整理表の記載を整理する。	資料反映： 検討中
構造概要（外部衝撃）	外部火災	図面	54	共通12_R4	2023年3月10日	P45外部火災の耐火塗装の施工範囲を示した概要図の外周ラインについて、どのような考えで外周ラインを設定しているのかわかるようすること。	(No.77と同様)	(No.78と同様)

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表、 図面	55	共通12_R4	2023年3月10日	全般的に別紙2の構造設計の整理表と概要図のリンクを整合させること。また、概要図ではわかりづらい箇所もあるため、写真を活用し説明すること。	整理表と概要図の記載が整合するように見直す。 また、写真を活用することも考慮し、資料を精査する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）（一部見直し）  資料反映： 次回以降 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）
構造概要（外部衝撃）	火山	整理表、 図面	56	共通12_R4	2023年3月10日	P29火山別紙2にて構造設計の説明に概要図を追加すること。（竜巻の説明で添付している概要図を用いてもよい。）	火山に関する構造設計について、概要図を追加した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-4表 ・第1.2.1-2図 ・第1.2.1-12図
本文	-	-	57	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P1：2. の基本設計方針の抽出の考え方について、各条00別紙で既に整理されている要求種別に基づき抽出することは理解するが、その考え方を資料にしっかり資料に記載できていない。また、②の2ボツ目について、評価条件に関するものは記載しないのはいいが、括弧書きの「荷重の組合せ」については、何の荷重かによって、構造設計に関係するかどうかが変わるため、それを踏まえて記載を見直すこと。	2. 構造設計が必要となる基本設計方針の抽出の考え方を共通12の本文に記載する。	資料反映： 次回提出 共通12 本文
構造概要（外部衝撃）	全般	整理表	58	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P2：別紙2の「設計上の配慮事項（周辺環境等）」について、周辺環境を例示として括弧書きしているが、例示する際には、最も主となる配慮事項を括弧書きとして記載すること。	「設計上の配慮事項（周辺環境等）」の記載を「設計上の配慮事項」へ見直す。	資料反映： 次回提出 共通12 本文、別紙2-1（構造設計） 整理表

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	59	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P2：別紙4としてつけている「構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理」が共通12の中で一番の入口であるのに対し、別紙としては一番最後についている。別紙の構成について、全体の説明の流れを踏まえ再整理すること。	各別紙の建付けを踏まえ、以下の通り別紙構成を見直す。また、構成に合わせて、関連する本文の記載についても見直す。 別紙1：類型分類の整理結果 基本設計方針を踏まえて、抽出された申請対象設備を母数として、各条文の説明項目ごとに整理した類型分類結果を示す。  別紙2：構造概要 別紙1で整理した類型分類を踏まえ、構造設計の説明が必要な内容を整理した上で、構造の観点で分類した結果を示す。  別紙3：申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト 別紙1、2で整理した内容を1つの表にまとめ示す。  別紙4⇒別紙3別添：構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理 構造設計の説明が必要な設備の整理結果は、別紙3で示す方針であり、構造設計に必要な基本設計方針、添付書類の整理結果がそのインプット条件になることから、別紙3別添に整理して示す。	資料反映： 次回提出 本文、別紙3別添 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理
共通12全体	—	—	60	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P2：別紙4と別紙2の関係は一例しか記載がないが、飛ばし先の構造設計整理表が違う場合（複数に飛ぶもの、他条文に飛ぶもの）の示し方を整理すること。別紙2の中で関係性を示すことは指摘していたが、別紙4の中で関係性を示すものがあれば示し方を整理すること。	別紙4で関連する別紙2の整理表が複数ある場合は、全て記載する。別紙2間で他条文と関連があるものは【I】にて関係性を示す。	資料反映： 次回以降順次反映し提出 別紙4 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理
共通12全体	—	—	61	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P2：別紙3（申請対象設備（類型分類及び構造設計の整理）リスト）の中で構造設計不要としているもの（記号にダッシュを付するもの）が、別紙4での整理結果とつながるように、別紙4の基本設計方針に対して類型分類の設計項目（防護対象施設等）のどれが該当するかを記載等して別紙3と別紙4を紐づけること。	別紙3の凡例で示す各条の類型分類（記号－丸番号）が別紙4で整理する基本設計方針から構造設計につながる整理表の各項目で、どの項目に該当するかを示す方針とする。	資料反映済： 2023/3/17 提出 「共通12の構成（全体体系）」（別紙4の整理方針）  資料反映： 次回以降提出 別紙4 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理 （本方針で竜巻以外の条文についても順次展開中。ヒアリング結果を踏まえ、修正予定。）

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
共通12全体	—	—	62	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	p2：別紙4,2との関係を踏まえて構造設計の整理が必要であることを、社内関係者へインプットすること。また、構造設計の説明が必要な対象を網羅的に示すため、上流からの整理（基本設計方針⇒添付書類⇒構造設計）で対象が漏れなく抽出できていることを示すこと。	社内関係者へ共通12の整理方針をインプットするとともに、別紙2,4で記載すべき事項の再整理を行う。	検討中
共通12全体	—	—	63	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	設計方針（添付書類）は上流の添付書類だけではなく、子添付、孫添付、計算書を列記すること。そのうえで構造設計として必要な箇所が判断できるようにすること。なお、共通12の中で細かく記載すると資料が膨大となるため、各条00別紙4を活用（引用）して説明することも可。計算書も前半部分で必要な部分もあり、計算書の精査を待っている共通12の対応が遅れるため、計算書関連の記載はブラッシュアップするにせよ、どう整理するか検討すること。	共通12別紙4では、各条00別紙3、4で整理している基本設計方針から添付書類の記載展開を考慮した上で、構造設計に展開不要な内容は添付書類の記載を「-」で省略し、構造設計に係る記載に関して、関連する添付書類について全て記載する方針とする。なお、「-」で省略した添付書類の内容は各条00別紙で確認できる。	資料反映済： 2023/3/17 提出 「共通12の構成（全体体系）」 資料反映： 次回以降提出 別紙4 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理 （本方針で竜巻以外の条文についても順次展開中。ヒアリング結果を踏まえ、修正予定。）
構造概要（外部衝撃）	竜巻	本文	65	共通12の整理方針（基本設計方針の網羅性）	2023年3月15日	P3：別紙4の記載例で表番号でなく【 】で示した別紙2との紐づけの記載（【竜巻防護施設を収納する構造】等）について、暫定的に定性的な記載としているが、具体的に記載するより分かりやすいかと思う。共通12別紙2のP22類型目次では【 】とのつながりが見えないため、【 】のものを類型のP22の表題にして、紐づくようにすること。	別紙1で整理した類型分類と別紙2の目次で示す構造類型の関係が明確になるように、別紙2の目次に【 】で類型分類の対象を示す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）目次 （本方針で外部衝撃以外についても順次展開予定。）
構造概要（施設共通）	安有	整理表	66	共通12_R5	2023年3月15日	P25：別紙2のNo. 3について、メンテナンス性の考慮については、施設共通の基本設計方針（第16条安有）を受けての展開であるため、共通方針に対して、個別の別紙2の表へどのように展開されるかを考慮し再整理すること。	メンテナンス性については、第16条 安全機能を有する施設の施設共通基本設計方針から展開されることから、別紙2-8として上流から整理する。 なお、別紙2-8の試験・検査性、保修・修理以外の基本設計方針が構造設計に関係するかどうかの整理については別紙4として精査中。	資料提出： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-8 施設共通基本設計方針に関する構造設計 ・第1表 資料反映： 次回以降提出 別紙4 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	67	共通12_R5	2023年3月15日	P25：竜巻の基本設計方針第2章の冒頭にある共通条文に基づく記載について、別紙2に記載がないが、別紙4にて冒頭宣言のため構造設計との関係なしと整理するのはいいが、冒頭宣言を受ける設計方針が後段にあることが前提条件のはずなので、精査すること。	冒頭宣言および冒頭宣言を受ける基本設計方針が構造設計に関係するかどうかの整理については別紙4として精査中。	資料反映： 次回以降提出 別紙4 構造設計の説明が必要となる基本設計方針の関係整理
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	68	共通12_R5	2023年3月15日	P25：構造設計を2列で記載しているが、構造設計が違う箇所が多いのであれば、程度間に応じて縦に並べる、表を分けるという整理方法についても検討すること。分ける程度感含め検討し説明すること。	共通的な構造設計が複数あり、説明の重複を避けるため、一列にまとめ、設計の差分として示す方針とする。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	69	共通12_R5	2023年3月15日	P25：No. 1, 2の共通設計の中にNo. 5, 6等の設計が絡まれており、他条文要求を踏まえそれぞれ設計を変えていることが分かるような記載に見直すこと。	共通設計として、「防護板（鋼材）は、設計上考慮する飛来物が、竜巻防護対象施設に直接衝突しないように設置する。」とした上で、隙間の設計の差分を網羅的に記載した。また、他条文要求を踏まえた記載であることを【I】にて記載した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	耐震	図面	70	共通12_R5	2023年3月15日	飛来物防護板のうち、P40等で示した地震の変位量を考慮すると防護板同士もしくは防護板と建屋（洞道含む）が衝突する可能性があるものについては、飛来物防護板としての条文要求（波及影響を考慮する場合1.2Ss）だけでなく、衝突先（建屋（洞道含む））の条文要求も踏まえて、Sd評価時の変位量、建屋の耐震評価に衝突影響を考慮するか等の影響について整理すること。また、衝突しても竜巻防護対策設備としての担保事項（設計飛来物の侵入を防止する）が確保できることの説明を改めて整理して示すこと。	事実関係を整理し、対応方針及びスケジュールを検討する。	検討中
構造概要（外部衝撃）	耐震	図面	71	共通12_R5	2023年3月15日	建屋の耐震計算書では衝突の影響による荷重を考慮する必要があるか整理すること。クリアランスの確保がマストではないが、設計方針としてどうするかというところを含め改めて説明すること。	事実関係を整理し、対応方針及びスケジュールを検討する。	検討中
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	72	共通12_R5	2023年3月15日	構造設計の説明において、会合で示した2-2（解析、評価等）につながるものについては、別紙2の整理表の記載および図面でそれがわかるよう吹き出しに記載すること。	別紙2の整理表または図面の吹き出しにおいて、2-2への展開があることを記載する。（記載例：取付ボルトの評価方針等は、「2-2：解析、評価等」にて説明予定）	資料反映： 次回以降提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） （上記以外については、順次展開予定）

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	73	共通12_R5	2023年3月15日	別紙2でラビリンス構造により、飛来物の侵入を防止するものについては、この構造で良いという説明がないのでその妥当性を説明すること（防護ネットの説明においても同様）。	図面で侵入経路がわかるように線を引き、構造の妥当性（防護対象施設に飛来物が直接衝突しない）を説明する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-8図 ・第1.2.2-1図
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	74	共通12_R5	2023年3月15日	P60：図面の右側は壁のように見えるが、何があるのか示すこと。	図面として示すべき情報を整理して、反映した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-17図
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	75	共通12_R5	2023年3月15日	P26：別紙2 No. 14に共通設計の記載があり、個別設計の後に記載があるため、どの位置で整理するのが適切か検討すること。	別紙2では上流からの整理結果を踏まえ、共通設計の記載位置を見直した。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	整理表	76	共通12_R5	2023年3月15日	防護板は単純に板厚あればよいのではなく、飛来物から守れるのか、ものとして支持を適切に受けられているかが重要であるため、それらの構造設計の方針が現状の添付書類に記載があるかを確認し、記載がなければ今後追記することを踏まえ記載すること。	別紙2では上流からの整理結果（別紙4の整理結果）を踏まえ、構造設計として記載する。	資料反映： 共通12 次回提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-2表
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	77	共通12_R5	2023年3月15日	全体的に図面へ記載する情報が不足しているため、一般的な図面の作法は押さえつつ、情報を拡充すること。 《以下指摘箇所》 ・P91：支持部が不明確、フードの部分にて飛来物防護板の荷重を受けて問題ないか。平面図の白四角部が断面図側で読み取れない。 ・P68：梁が浮いた感じであって、柱が書いていない。長手方向の針だけでなく短手方向の梁もかけていない。断面で切っているが奥に見えるものが書かれていない。 ・P87のハッチングが間違っている。 ・P84のアンカー位置が示されていない。	構造設計の説明をする上で必要な情報を精査し、情報が不足している箇所は図面を見直す。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃）図
構造概要（外部衝撃）	外部火災	図面	78	共通12_R5	2023年3月15日	P45：前回のヒアリングにて指摘した外周ラインの考え方について示すこと。	GLレベルになる基礎や基礎上の飛来物防護板で最も外側になる設備を繋いだラインが外周ラインであることを概要図にて明確にした。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・第1.2.1-14図

コメントに対する対応方針（共通12）

凡例：グレーハッチング（対応済のコメント）

コメント管理No.				コメントを受けた資料	コメント日	コメント内容	対応方針（回答方針）	対応スケジュール
分類 (キーワード)	構造概要の分類		No.					
	中分類	小分類						
構造概要（外部衝撃）	竜巻	図面	79	共通12_R5	2023年3月15日	P114の落雷「A' ③」について、主排気筒は雷撃を補足して接地極へ流すこととなっているが、飛来物防護板を設置することで接地極へ雷撃を流すことに対する悪影響はないか説明すること。	主排気筒への飛来物防護板の設置に伴う落雷の影響（主排気筒と飛来物防護板には隙間があり電氣的に接続していないこと）については、別紙2（構造設計）で説明する。	資料反映済： 共通12_R6 2023/3/17 提出 別紙2-1 構造概要（外部衝撃） ・参考資料